

第 66 回評価監視委員会の開催について

第 66 回一般財団法人建設物価調査会評価監視委員会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

開催日時	2022 年 6 月 29 日（水）14：00～16：00	
開催場所	一般財団法人建設物価調査会 会議室	
出席委員 （五十音順）	鵜飼 誠（委員長（元会計検査院 第 1 局長）） 佐藤 淳（東邦監査法人 代表社員、公認会計士） 白戸 智（株式会社三菱総合研究所 スマート・リージョン本部 主席研究員） 宮本和明（パシフィックコンサルタンツ株式会社 社会イノベーション事業本部 技術顧問）	
当会	共通資材調査部 大澤 勝、小林法雅、高梨卓司、岡本二郎 第一土木調査部 大谷忠広、船田 誠、岡村元和、河村健太 調査統括部 柴尾 治、平野光芳 監査審査室 今井 豊、勝井 治	
審議案件	案件	備考
	（定期調査） ストレートアスファルト （東京）	「建設物価」2022 年 5 月号 219 ページ 掲載価格について、調査結果記録票、調査結果集計表等に基づき、調査方法、調査プロセス等を説明
	（受託調査） 削孔工（湿式コアドリリング工） （埼玉県川越市）	受託調査について、調査票、調査報告書等に基づき、調査方法、調査プロセス等を説明
委員からの主な意見・質問 それに対する調査会からの回答等	別紙のとおり	
委員会による指摘 （不適切な点又は改善すべき点）	なし	

別紙

意見・質問	説明・回答
<p>1. 定期調査について ストレートアスファルト（東京）</p> <p>○販売価格にはプラントまでの輸送費は含まれているのか。</p> <p>○プラントの所在地によって販売価格が変わることはあり得るのか。</p> <p>○「建設物価」掲載価格は需要家ごとに調査した価格の平均値なのか。</p> <p>○需要家はストレートアスファルトのメーカーにどのように発注するのか。</p> <p>○年明け以降の価格変動要因は、需給ひっ迫ではなく原油価格の高騰に起因したメーカー仕切り価格の上伸と理解してよいか。</p> <p>○輸送拠点は、各流通会社が保有しているのか。</p> <p>○ストレートアスファルトと再生アスファルト混合物の関係について教えて欲しい。</p> <p>○「再生アスファルト混合物」の「再生」とは、骨材の再利用を意味しているのか。</p>	<p>○含まれている。</p> <p>○販売価格は各プラントまでの輸送費や取扱数量等により、需要家ごとに異なる。</p> <p>○売り手側調査による東京地区の最頻値価格である。</p> <p>○需要家は受注計画及び製造計画に応じて、販売店等を通じてメーカーに発注している。</p> <p>○年明け以降の価格変動要因は、原油価格の高騰に起因したメーカー仕切り価格の上伸の影響が大きい。</p> <p>○地域の事情や流通会社により、まちまちである。</p> <p>○道路工事において既存のアスファルト舗装を撤去した際に発生するアスファルト塊に対して、ストレートアスファルトを添加したものが「再生アスファルト混合物」である。</p> <p>○「再生」とは、骨材の再利用を意味している。</p>

別紙

意見・質問	説明・回答
<p>2. 受託調査について 削孔工（湿式コアドリリング工）</p> <p>○この受託調査は、予定価格の作成が目的であるか。</p> <p>○元請業者が決まると、削孔工事を担当する会社が下請けになるのか。</p> <p>○削孔の施工数量によって、工事単価は変わるのか。</p> <p>○削孔の直径が異なる場合でも、アタッチメントを変えれば同じ機械で削孔できるのか。</p> <p>○調査を行う上で、必要な調査条件が不足している場合はよくあるのか。</p> <p>○調査対象者はm単位で見積りを行うのが一般的なのか。</p>	<p>○予定価格作成が目的である。</p> <p>○削孔工事は、専門の工事業者が下請けで施工することが一般的である。</p> <p>○極端に施工数量が少ない場合は、施工単位当たりの価格は割高となる。</p> <p>○ビットを変えれば、同じ機械でφ500mmまでは削孔可能である。</p> <p>○時々あり、その都度、発注者に必要な調査条件を確認している。</p> <p>○m単位の見積りが多い。本調査においては、発注者の要望により、箇所単位に換算して報告している。</p>
<p>3. 次回開催日について</p> <p>○次回評価監視委員会は、2022年10月下旬に開催予定。</p>	